

第7回滋賀県精神療法・薬物療法研究会

2024. 2. 4 日 10:00~12:00

開催形式： 現地開催

キラリエ草津 草津市立市民総合交流センター

401会議室(定員63名)

滋賀県草津市大路2丁目1番35号

座長 滋賀医科大学病院 薬剤部 副薬剤部長
上西 幸治 先生

情報提供 ヒト化抗ヒト可溶性アミロイドβ凝集体モノクローナル抗体
「レケンビ点滴静注」の製品紹介 エーザイ(株)

特別講演 10:30~12:00 (90min)

演題

「認知症診療の最近の話題」

演者

滋賀医科大学 内科学講座 脳神経内科

学内講師 **北村 彰浩** 先生

会費： 薬剤師、日精看会員・看護師・その他コメディカル・学生：無料
日病薬病院薬学認定薬剤師制度 1単位(V-1 予定)
精神科専門薬剤師・薬物療法認定薬剤師 0.75 単位 (90min)

注) 専門制度の単位取得希望者は研修終了後、成果報告書の提出が必要になります。

ご提供いただきました個人情報（ご指名・メールアドレス）は、講演会の出席の確認、連絡の為に使用いたします。個人情報、主催関係者および業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。個人情報は、弊社の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理いたします。

共催： 滋賀県病院薬剤師会 エーザイ株式会社
後援： 日本精神科看護協会 滋賀県支部
バイオジェン・ジャパン株式会社

【問い合わせ先】 エーザイ株式会社 松永敏明 TEL：090-7632-40044

認知症の新たな治療戦略を考える

【研修会企画の意図】

既に多くの病院や在宅医療の現場において、担当する患者さんにおける認知症の併存は大きなインパクトをもたらしているが、人口減少化社会においては、なお一層その足音が大きくなっていることを実感しているのではないのでしょうか。

そのような中、従来の治療薬とは異なる『早期の段階』からの薬物治療が本邦でも始まろうとしています。

我々の従来の医療的枠組みでは、軽度認知障害（MCI）レベルの患者さんに対しては、その認知症へのコンバート率（5～15%/年程度）とリバート率（16～41%/年程度）に対する効率性から、生活衛生指導に重点をおいた関りを主にしてきた。

はたしてどのように関われば、正常域の高齢者からキャッチアップすることができるのか？
従来の診断基準で用いられてきた臨床像評価とバイオマーカー評価はどのように異なり、または類似するのか？
薬物治療を開始し、どのような薬効をどの程度期待し、評価観察しえるのか？無効である場合はどのようにとらえるのか？
副作用としての『ARIA』という新しい概念はどのようなもので、どの時期にどのようにフォローアップすべきか。

患者さんの状態を早期に把握し、どのように支え、専門的な治療が行われていくのか、病院機能に応じたどのような連携が必要となるかについて、本講演では医療の専門家として基礎となる知識を初学者に向けて解説いただきます。

- ▶本講演会は医療関係者の皆さまに限りご参加いただくことが可能です。
- ▶本講演会の内容（話される内容や投影される文字、写真、図、イラストなど）の無断での複製、転載、改変その他の二次利用はお控えください。

<開催会場について>

キラリエ草津
草津市立市民総合交流センター TEL.077-561-7700

<アクセス> 住所：〒525-0032 滋賀県草津市大路2丁目1番35号
JR「草津」駅から徒歩約5分

有料駐車場（駐車台数：164台）駐車場営業時間：8時～22時
施設利用者のみ最初の4時間まで無料 以降30分ごとに100円